総務、産業、建設常任委員会記録

招 集 年 月 日	平成28年2月26日(金)
招 集 の 場 所	議員控室
開 会	午後1時30分
出 席 者	委員長 我妻 薫 副委員長 山岸 三男 委員 千葉 一男 委員 藤田 洋一 委員 櫻井 功紀 委員 鈴木 宏通 委員 前原 吉宏 議長 吉田 眞悦
欠 席 者	
職務のため出席した者の職氏名	議会事務局次長 佐藤俊幸
協 議 事 項	・常任委員会の研究テーマについて
そ の 他	
閉 会	午後2時00分

2号様式 協議の経過

我妻委員長	<p>1時半になりましたので、ただ今から総務産業建設常任委員会を開催したいと思います。</p> <p>ただいま出席6名でありますので委員会は成立しております。なお、千葉委員より遅れるとの通告がございました。</p> <p>それでは今日、ご案内しておりました会議事項について1点ですが、常任委員会の研究テーマについて早速、議題にして協議に入りたいと思います。</p> <p>皆さん、それぞれ課題についてお持ちいただいているかと思いますが、うちのほう、前2年間は原子力災害で開いてまいりました。この1年間のテーマについて出していただければと思います。</p>
山岸委員	<p>委員長、まるっきり新しいテーマということでよろしいんですね。皆さん、委員さんから。</p>
我妻委員長	<p>はい、藤田委員。</p>
藤田委員	<p>今度、新しいメンバーということで、4月からスタートする総合計画、それと活性化事業もスタートしますので、それらをテーマに絞ってはどうかかなと思いますが。</p> <p>例えば商工とか農業とかの分野があるんですが、教育民生と違ってかなり狭められてくると思うんですね。課題、テーマを設定するのは大変だと思うんだけど、一つはそこにおけるテーマ設定ではどうかと私は考えるんですが、皆さんでその辺を話し合って勉強していければと思います。</p>
我妻委員長	<p>今、総合計画と活性化事業と言いましたが、施設ではないですね。</p>
藤田委員	<p>施設ではないです。</p>
我妻委員長	<p>総合計画とか活性化事業がスタートするので、その辺に絞ったテーマではどうかという藤田委員の意見でございました。</p>
藤田委員	<p>もう一つ付け加えまして、4つの政策と10の施策ということで出されておりますけども、その中で我々の常任委員会では、まず第1編の農業ですか、その辺に絞られるのかなということを付け加えて、あと皆さんから出していただければ、委員長の考えがあれば委員長から出していただいて、絞っていきたいと私は思うのですが。</p>
我妻委員長	<p>農業中心ということで。</p>
藤田委員	<p>そうですね。</p>
我妻委員長	<p>はい、鈴木委員。</p>
鈴木委員	<p>研究テーマとして昨年は原子力災害でしたけども、今回、藤田さんと同じようになるかと思いますが、活性化の対策として、私としては農商工連携による、エネルギー関係の部分でいろいろと勉強していけないかなと。</p> <p>具体的に言いますと、結局、農業関係のほうがなかなか厳しいということと、先日、奥州市のそういう活性関係のテレビ放映がされましたけど、例えば米を使った部分の開発でアルコールを作って化粧品、薬等の原材料を作りながら、その商品開発も地元でしながら販売にまで結びつけている</p>

	<p>ような一連の形というので、農商工関係全部を捉えながらのそういう活性化に対する提言、または私たちの勉強等も含めてできないかなと考えてまいりました。</p>
我妻委員長	<p>農商工連携というのを、まずキーポイントにして。</p>
鈴木委員	<p>最初の起点が農業、生産物から加工して販売、そういう一連のつながりが持てないかなというところを模索できないかなと思ひまして。</p>
我妻委員長	<p>藤田さん、鈴木さん、お二人から出ましたが、櫻井委員。</p>
櫻井委員	<p>平成26年1月の改選期のときに、25年12月の新聞だったかな、相澤町長が農商工連携の活性化施設を公約に上げたんだよね。ところが2年経って基本計画できないし、私が26年3月に一般質問したときは年内にやると相澤町長が答弁しているのさ。ところが、この間の全員協議会のときは三十何年度の目標だったかな、それで30億。ちょっと無理な施設なのかなという感じは受けたのね。財源の予測も何もないんだよね。これからだと思っただけども、財源探しは。農水省なのか、経済産業省なのか、それとも道の駅は国交省なのか。</p> <p>テーマは活性化事業でいいんでないかなと思うんだけどね、あまりにも町長の公約が漠然として、全員協議会のときは財源が何もないんだ、これから探すんだという話だし。30億かかったら年間の維持費が億単位で行くんでないかなと思うんだよな。それが公設、民設なのか第3セクターなのか、それも全然、出てないよね、これからだということで。おそらく任期中の2年後には出来ない。来年あたりかな、基本構想というのは。</p> <p>だから、そこに絞ったらどうなのかな、総務の常任委員会では。</p>
我妻委員長	<p>さっき鈴木さんから言われたのに関連する格好でいいの、農商工連携。</p>
櫻井委員	<p>うん、そうだね。 農商工、6次も入っているんでしょ。</p>
鈴木委員	<p>もちろん、6次も全部。</p>
我妻委員長	<p>6次産業も入るね。 はい、前原委員。</p>
前原委員	<p>私的には同じようなものなんですけども、舞台ファームの社長さん、2回ほど講演に来てますよね。私は駅東にしか行かなかったんですけど、その中で言われてすごい印象に残っていることがありまして。</p> <p>千疋屋ってありますよね、フルーツパーラー高野って有名なところもあるんですけど。千疋屋って言うと中国人がすごいんですよ、買い物したり歩いて手の大きさがぐらいのイチゴ買っているんですね。そういう何万円するようなイチゴとかスイカとか売っているんですけど。</p> <p>その社長が言っていたのが、千疋屋のクオリティをコンビニに持って行きましょうと。どういうことかと言うと、皆さん知っているとおりカップ野菜がコンビニで当たり前前に売っている時代なんです。カップ野菜自体は昔はお昼には茶色になってしまう素材だったと。それをぜひ、6次産業化だと思っただけども、そういう商品的な管理とかの部分の具体的な方</p>

	<p>法というのをもっと勉強したらどうかなと。</p> <p>ただ作るだけじゃなくて、私はそっちのほうに特化してもらいたいなと、生産から加工、販売まで。</p>
我妻委員長	<p>ま、言ってみればさっき鈴木さんから出た農商工連携の具体的な取り組みの中に入ると。</p>
前原委員	<p>そうですね。</p>
我妻委員長	<p>櫻井委員。</p>
櫻井委員	<p>今のカット野菜、どこの事業者も取り寄せているんだな、そば屋とか店屋でも。それで、あそこでカット野菜やっているんだな。</p> <p>(「扇屋さん」の声)</p> <p>扇屋さん、あそこでやっているんだ。</p> <p>(「南郷にも工場誘致の」の声)</p>
山岸委員	<p>木の屋の隣でもカット野菜やっているんでしょ。</p>
藤田委員	<p>東松島もやっているし。</p>
前原委員	<p>だから流通が変わるわけですよ、それによって。そういうのをもっと。</p>
我妻委員長	<p>流通となると商のほう。今、みんなから出されたのに集約されると思います。さっき言ったように原子力災害2年やってきて、また災害をやるとなれば洪水災害とかに。</p> <p>今まで災害関係やってきたので産業関係のほうかなという思いはしていました。あと総務関係と言え、空き家関係とか、これも一つの課題に残っているのかなと。これも増えているし、リフォームとか再活用含めて外から人口を呼ぶとか、果たしてここが可能かどうかあるんだけど、いろいろそういったほかの課題もあるかと思いますが、だいたい農商工連携のところの一つの皆さんの、そう思いますけど。</p> <p>ただ、さっき櫻井委員から出た施設そのものには踏み込めないと思うのね。執行部側が具体的に議論を重ねているところだから。そこに我々が直接踏み込むようなことは、執行部との関係もあるので。ただ、今出されたような農商工のいろんな先進地から勉強しながらこの町でどういうふうなものができるか、その辺の研究だったら執行部側に別に介入するわけでもないし、側面から提案することにもなろうと思うんで。</p>
櫻井委員	<p>災害は大橋委員長の時も災害に強い町づくりということで、水害も含めて豊岡に行ってきたわけさ。</p>
我妻委員長	<p>この2年、原子力災害で続けて来たから産業のほうに。</p> <p>農商工連携ということ 키워ワードに、具体的に鈴木さんから出されたような、そこから何点か出してもらって、そこから入り込んでいくということいいですかね。</p> <p>(「そうだね」の声)</p> <p>前原さん鈴木さんから出た事例をこの次、持ち寄って、そこから選んで入っていくと。</p>
櫻井委員	<p>6次加工と言え、梨で作ったピューレだっけ、そのほかにも栗野さん</p>

	<p>の息子、シソのやつで研究に研究を重ねて。 (「ドレッシング」の声) ドレッシングの前になんだか。この間ね、東北放送が来てやっていたんだな。</p>
我妻委員長	今、だいが梨で進んでいるんだよね。
櫻井委員	栗野さんの大葉、インタビューしていたっけな。
我妻委員長	今、現状をまず把握することも必要かもわからない。町内の進行状況。
櫻井委員	ポテトもそうだと思うんだよ、カルビーと提携してやっている。
我妻委員長	契約農業ね。
櫻井委員	青生の齊藤組合長、次はやらないと言っているような。何が原因なのかね。その辺もちょっと調べていいんでないかな。町内でやっている6次加工はどうなのか。
我妻委員長	<p>カルビーのやつは残ったやつの活用なんかもあるんだけど、あまり活用されていない。 (13:48 千葉委員、入室) では、今出されたカルビーとかの問題も含めて、農商工の連携ということで次回まで具体例としてどういったところに絞っていくか、それぞれ皆さん情報を持ち寄って次回、そこから選んだところに今年1年集約していくと。 3月議会で今年1年のテーマさえ確認すればいいからね。農商工連携でいいですか。</p>
櫻井委員	千葉さんの意見も聞いてみてください。
我妻委員長	<p>千葉委員が遅れて参加しましたので、研究テーマについてそれぞれ出していただきました。おおむね皆さんから産業関係、農業をベースに農商工連携の具体的なところを研究して、学んで提言していったらどうだろうかというのが、流れとして確認されてきたところです。 千葉さん、ご意見をお聞きしたい。</p>
千葉委員	いいテーマだと思います。
我妻委員長	櫻井委員。
櫻井委員	産業振興だよ、農商工連携による産業振興。
我妻委員長	「農商工連携について」でいいんじゃない。産業振興の中身として。
櫻井委員	わかりました。
我妻委員長	産業振興だとあまりにも広すぎるさ。
櫻井委員	そうだね。
我妻委員長	<p>どうですか、「農商工連携について」で。 (「はい」の声)</p>
山岸委員	<p>すいません、ちょっと待ってください、私まだ意見言ってないので。単純に農商工連携で決めてもらっては、私は困るんですね。私は私で考えてきましたので発表させていただきます。</p>

	<p>まずですね、美里町は基幹産業が農業だと何十年も前からうたってますね。その中で生産高だとか生産金額っていうのは相当の金額、資料にも出てますけど60何億という農業生産の金額が出てますよね。そういう中で今、常任委員会でテーマとしてただ農商工連携についてと。連携だけでなく、私が言いたいのは今回の常任委員会のテーマとして掲げるのは、その農商工連携の中の、皆さんから意見が出たのに考え方は一致していますけども、それによって美里町の地域の活性化であったり、社会福祉の向上だったり、商工業者、農業者の売り上げが上がって豊かになる、美里町はこれを特化してやっているから売り上げが伸びたんだよ、生活が向上したんだよ、そういう大局的な内容でのテーマに私はしたくて、一応考えてきたつもりなんですけども。</p> <p>町長の公約で地域活性化拠点施設、計画案まで出てきました。それも私は絶対絡むと思っていますし、単なる農商工連携という枠だけではないと思っています。美里町にどれだけの利益だとか、住民が住んで良かったとか、幸福感とかそんなことを味わえる町づくりに繋げるようなテーマで進めていきたいなと考えていますんで。</p> <p>もちろん最終的には農商工連携で、そこからいろんな経済だとか地域活性化だとかに繋がっていくと思うんですけども、その辺を含めた形での内容にしてもらいたいなと思っています。基本的には皆さんの意見とは変わっていない。</p>
我妻委員長	今の副委員長のご意見、農商工連携でだめだというのでは。
山岸委員	だめではないです。
我妻委員長	行く先をちゃんと展望しながらやりましょうということですね。
山岸委員	そうですね。美里町にとってどれだけ、こういうことを持ってくれば、あるいはこんなことをやったらもっと美里町の活性化に繋がるとか。
我妻委員長	<p>そういう展望でさっきの農商工連携の研究を深めるといってどうでしょうかね。</p> <p>(「はい」の声)</p> <p>展望を持ちながらやるということでは皆さん出したのかなと、私は理解しましたけど。</p> <p>農商工連携のテーマそのものを否定ではないんですね。</p>
山岸委員	全然、否定はしていませんから。
我妻委員長	<p>今、副委員長が言ったのを先に見据えてやると、そういうことでいいですか。</p> <p>(「はい」の声)</p> <p>では、「農商工連携について」をテーマにね。</p>
櫻井委員	今日、決定するの。
我妻委員長	<p>テーマについては「農商工連携について」で。</p> <p>それが1年間の研究テーマですけど、具体的な内容はこの次、持ち寄って、さっき鈴木さんから出た岩手の奥州市の関係、そういった例もあるし、</p>

	<p>あとは櫻井さんも言ったようなものもあるし、前原さんから出たようなものもあるし、そういったものを全部できないからそこから絞って当面、どこに切り口を持って行くかは次回に。</p> <p>櫻井委員。</p>
櫻井委員	<p>我が常任委員会の研究テーマというのは「農商工連携について」というテーマで行くわけですね。</p>
我妻委員長	<p>それでいいですね。</p>
山岸委員	<p>ちょっと待って。</p> <p>「農商工連携について」というんでなくて、「農商工連携による美里町の活性化」とか、産業活性化とか。</p> <p>連携だけではちょっと余り単純すぎるのではないか。</p>
我妻委員長	<p>そこを展望しての話だから。</p>
鈴木委員	<p>これからの先がここに向かうんでしょうから。</p>
我妻委員長	<p>停滞するために我々研究しようというんでないからね、活性化に向けてだから。</p>
藤田委員	<p>そういう、みな集約されているわけだから、そこに向けてね。</p>
我妻委員長	<p>千葉委員。</p>
千葉委員	<p>遅れてきてここで言うのもおこがましいですけども、農商工ということは6次産業ということだね。6次産業、うまくかみ合わせた活性化を図ろうということでもよしいんでしょう。</p> <p>(「はい」の声)</p>
我妻委員長	<p>「農商工連携による活性化について」。</p>
山岸委員	<p>あまりこれでは幼稚園だからさ、もう少しちょっとね。</p>
我妻委員長	<p>では「による活性化について」ということで小学校まで格上げして。</p> <p>(「はい」の声)</p> <p>ではもう一回、確認します。「農商工連携による活性化について」、こういうテーマでもよしいですか。</p> <p>(「はい」の声)</p> <p>具体的には、どこに切り口を持って行くかは次回ね。</p> <p>(「はい」の声)</p> <p>そこまで皆さんもいろんなところ、資料、検討していただいて次回持ち寄っていただいて、どこを切り口に入るかを確認したい。</p> <p>そういうことでよしいですか。</p> <p>(「はい」の声)</p> <p>じゃ、取りあえず3月議会に向けての研究テーマを確認したので、あとは次回、いつやるかということになりますが、3月議会終わってからだね。日程は3月議会の分科会の後半になったら確認すると。</p> <p>そういうことでよしいですね。</p> <p>(「はい」の声)</p> <p>ということで、今日のところは以上で。</p>

吉田議長	委員長、ちょっといいですか。
我妻委員長	はい。
吉田議長	<p>今、主たるテーマを決めて、あとは今後、中身がついていくようになるかと思いますが、農商工連携に関わるテーマになったようですので、その中身、細部にどういうことをしていくかという中で、議会報告会で町民の皆さんから出されていることがあるんです。</p> <p>これは特に農業分野になってくると思うけども、そういう町民の声もあるということも踏まえて、それらについては地場産の消費拡大を図り農家の育成をしてほしいということとか、学校給食の利用だけでなく要するに町内全般という意味のようなんでね。あとは加工品の部分で町民の声としてもっとできないのかということもあるので、中身をもう少し深く掘り下げたときに町民の声もあるということも一つ踏まえて中身を考えて行けば、なおさら議会報告会の声も反映してますよ、ということにもなってくるのでね、そこのところをちょっと加味してほしいなと思います。</p>
我妻委員長	<p>今、議長から議会報告会の町民の声も参考に生かすようにと、反映することを頭に切り口を考えていくということで次回、そこも踏まえながら入っていくということによろしいですね。</p> <p>(「はい」の声)</p> <p>じゃ、ほかにございますか。</p> <p>(「ないです」の声)</p> <p>なければ一旦、閉めていただいて、あと今後のことを。</p>
山岸副委員長	<p>30分で終了できました。皆様のご協力、大変ありがとうございました。第2回目の常任委員会ですけども、実質最初の常任委員会だと思っています。</p> <p>研究テーマも決まりましたので、今、委員長がおっしゃったように次回は皆さんそれぞれ自分の言った意見の内容について具体的にいろいろ検討あるいは調査していただいて、次回の常任委員会までに内容を詰めたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>本日は大変ご苦労さまでした。</p>

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 年 月 日

総務、産業、建設常任委員会

委員長